

進路だより



茨城県立那珂高等学校 進路指導部

4 人の先輩から後輩の皆さんへのメッセージ

さる 2 月 23 日(金)に 4 人の先輩たちが「進路体験講話」をしてくださいました。「皆さんはこうしたほうが良いです」、「自分はいまこんなことをしています」という具体的な話の数々は、聞いている生徒の皆さんの気持ちにもグッと入って行ったと思います。一心不乱にメモを取りながら聞いていた 1 年生の皆さんの姿も印象的でした。せっかくの機会ですので、先輩たちの話のポイントをまとめてみました。



① 茨城大学工学部生体分子機能工学科 Kさん(男性)

- ・推薦入試で合格できれば良いと考えないようにしてください。一般入試で合格するだけの実力をつけておかないと後悔します。
- ・将来の目標がある人と無い人では、勉強への力の入り方が全然違ってきます。なるべく具体的な目標を見つけて下さい。
- ・模試の見直しや復習に時間をかけて下さい。僕はこのことに気づくのが遅かったです。
- ・那珂高生は「やればできる」人がたくさんいます(でも残念なことに本気になっていない人も多い)。
- ・皆さん方が本気でやれば、僕のことなんかは軽く追い越せると思います。

② 茨城キリスト教大学文学部児童教育学科 Kさん(男性)

- ・茨城キリスト教大学は、学生どうし先生と学生の仲がとても良い雰囲気です。でも、たとえば授業の提出物の締め切りに少しでも遅れると、絶対に受け取ってくれません。大学は自己管理の厳しが必要です。
- ・自分は推薦入試で受験しようと思っていたが、入学してみると一般・センター試験で入ってきた人が多く、学力差を感じることもあるので、皆さんはセンター試験までしっかり勉強して下さい。

③ 茨城県立中央看護専門学校 Wさん(女性)

- ・私は小学生の頃から助産師になるのが夢でした。それは 5 年生の時に妹が生まれたのがきっかけでした。
- ・高校では看護体験やインターンシップに積極的に参加してきました。学校選びをHPの情報だけで判断してはいけません。自分の目で確かめることが大切です。
- ・思いは行動の原動力になります。部活の大会で勝ちたい気持ちがあれば、辛い練習にも耐えられますよね。好きな人が出来れば、気に入ってもらおうと努力できますよね。行きたい学校があれば、それに向けて勉強も頑張れるのです。

④ 常陸大宮消防本部 Uさん(男性)

- ・僕は子供の頃から「人を助ける仕事がしたい」と思っていました。
- ・消防の仕事は正直言って楽なものではありません。たとえば、火災で出動するときの消防服は重さ 10kg, ボンベも 10kg. 計 20kg を背負って動くので体力も消耗します。今日は夜勤明けで 2 時間しか寝ていません。
- ・公務員試験の勉強は 1 年生の時から始めていました。皆さんも、準備は少しでも早く始めて下さい。
- ・僕は、人はなぜ働くのだろうと考えてみました。生活するため。自分のため。お金を稼ぐため。いろいろあると思いますが、仕事というのは決して一人では出来ません。どんな仕事でも、人と人との関わりがそこにはあります。その関わりの中で人は成長するのだと思うようになりました。

